

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育①	前期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

スポーツの始まりと変遷・バレーボールのルールについて理解する。実技種目ではバドミントンのネット型ゲームの特性を理解し、基本的な技術を身につける。

◇学習の進め方

前期にレポート2通を提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可) 前期5回出席すること。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	4/23.24		「体育」オリエンテーション	
2	4/30.5/1 ～	1.2	男女別 バドミントン、卓球他	217～230
3	5/28.29 まで		男女別 バドミントン、卓球他	
4	6/25.26～		男女別 レクリエーションスポーツ他	
5	7/23.24 まで		男女別 バドミントン、バスケット他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

・使用教科書 大修館 「現代高等保健体育」、大修館 「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育②	後期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

日本生まれのスポーツ、オリンピック・パラリンピックの意義、サッカー、バスケットボールのルールについて理解する。実技種目では男女別に行う。

◇学習の進め方

前期にレポートを提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可) 前期5回出席すること。

◇スクーリング計画 10/8.9の「体育」オリエンテーションは後期入学生のみ実施。

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	10/8.9	1～2	「体育」オリエンテーション	126～129
2	10/15.16～		男女別、レクレーションスポーツ他	
3	11/5.6まで		男女別、レクレーションスポーツ他	
4	12/3.4～		男女別、選択種目他	
5	1/14,15まで		男女別、選択種目他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

- ・使用教科書 大修館 「現代高等保健体育」、大修館 「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育③	前期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

スポーツと経営・ドーピング・スポーツ理論、野球・スキー・スケート・スノーボードのルールを理解する。実技種目では男女別にバドミントンやバスケット等の基本的な技術を身につける。

◇学習の進め方

前期にレポートを2通提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可) 前期5回出席すること。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	4/23.24		「体育」オリエンテーション	
2	4/30.5/1～	1～2	男女別 バドミントン、バスケット他	130～134
3	5/28.29まで		男女別 バドミントン、卓球他	
4	6/25.26～		男女別 バドミントン、レクリエーションスポーツ	
5	7/23.24まで		男女別 バドミントン、バスケット他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

・使用教科書 大修館「現代高等保健体育」、大修館「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育④	後期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

運動・スポーツの学び方、テニス、ソフトテニス・ラグビーのルールについて理解する。実技種目では男女別におこない、バスケット、バドミントン、卓球等の基本的な技術を身につける。

◇学習の進め方

前期にレポートを提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可) 前期5回出席すること。

◇スクーリング計画 10/8.9の「体育」オリエンテーションは後期入学生のみ実施。

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/8.9	1～2	「体育」オリエンテーション	140～143
2	10/15.16～		男女別、レクレーションスポーツ他	
3	11/5.6まで		男女別、バドミントン他	
4	12/3.4～		男女別、バドミントン他	
5	1/14.15まで		男女別、種目選択他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

- ・使用教科書 大修館 「現代高等保健体育」、大修館「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育⑤	前期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

効果的な動きのメカニズム、陸上・体操・水泳のルールを理解する。実技種目では男女別に、バドミントンや卓球等のネット型ゲームの特性を理解し、基本的な技術を身につける。

◇学習の進め方

前期にレポートを提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可) 前期5回出席すること。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	4/23.24	1～2	「体育」オリエンテーション	
2	4/30.5/1～		男女別、バドミントン他	144～147
3	5/28.29まで		男女別、バドミントン、卓球他	
4	6/25.26～		男女別、種目選択他	
5	7/23.24まで		男女別、種目選択他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

- ・使用教科書 大修館 「現代高等保健体育」、大修館「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育⑥	後期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

体カトレーニング、ソフトボール・バドミントンのルールについて理解する。実技種目では男女別におこない、バドミントンやバスケット等の特性を理解し、基本的な技術を身につける。

◇学習の進め方

後期にレポートを2通提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可)前期5回出席すること。

◇スクーリング計画 10/8.9の「体育」オリエンテーションは後期入学生のみ実施。

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	10/8.9	1～2	「体育」オリエンテーション	136～141
2	10/15.16～		男女別、レクレーションスポーツ他	
3	11/5.6まで		男女別、バドミントンゲーム他	
4	12/3.4～		男女別、バドミントン他	
5	1/14.15まで		男女別、種目選択他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

- ・使用教科書 大修館 「現代高等保健体育」、大修館「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	体育⑦	前期1単位	2	10	5

◇科目の目標

運動の楽しさを味わい、体調を整え、体力向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。
また生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

◇科目の概要

スポーツを考えよう、柔道・卓球等のルールについて理解する。実技種目では男女別におこない、ソフトバレー・バトミントンのネット型ゲームの特性を理解し、基本的な技術を身につける。

◇学習の進め方

前期にレポートを2通提出し、筆記テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

スクーリング出席は1回のみ。(1日1時間、2科目履修しているもののみ2日間可) 前期5回出席すること。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/23.24	1～3	「体育」オリエンテーション	158～169
2	4/30.5/1～		男女別、バトミントン他	
3	5/28.29 まで		男女別、バトミントン他	
4	6/25.26～		男女別、種目選択他	
5	7/23.24 まで		男女別、種目選択他	

◇テスト範囲

レポート No.1～2

◇成績評価の方法

筆記テスト、レポート、面接の出席状況等を参考に総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は2通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの実技の出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に実技に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

- ・使用教科書 大修館 「現代高等保健体育」、大修館「イラストで見る最新スポーツルール」

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	保健①	前期1単位	3	2	1

◇科目の目標

個人生活や社会生活における健康・安全に関する理解や活動を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成し、生涯にわたり明るく活力ある生活を営むための基礎づくりをめざす。

◇科目の概要

◎「現代社会と健康」「安全な社会生活」について学びます。

◇学習の進め方

前期でレポート3枚を提出し、テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

開講4回のうち1回のみ出席可

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	5/28.29	1～3	「現代社会と健康」・「安全な社会生活」	P5～74
2	7/9.10		1回目と同じ内容です	

◇テスト範囲

保健①レポート No.1～3 教科書P5～74

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接の出席状況を参考に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は3通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

教科名	科目名	単位数	ポート枚数	開講時数	必要面接時数
保健体育	保健②	後期1単位	3	2	1

◇科目の目標

個人生活や社会生活における健康・安全に関する理解や活動を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成し、生涯にわたり明るく活力ある生活を営むための基礎づくりをめざす。

◇科目の概要

◎「生涯を通じる健康」 ◎「健康を支える環境づくり」について学びます。

◇学習の進め方

後期でレポート3枚を提出し、テストを受ける。

◇履修にあたっての留意点

開講4回のうち1回のみ出席可

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書ページ
1	10/29.30	1～3	生涯を通じる健康・健康を支える環境づくり	P75～129
2	1/7.8		1回目と同じ内容です	

◇テスト範囲

保健②レポート No.1～3 教科書P75～129

◇成績評価の方法

レポート、テストと面接の出席状況を参考に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「思考・判断・表現」は3通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。

「主体的に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。